令和3年度道徳教育全体計画

島根県立出雲商業高等学校

※の箇所・・・「しまねのふるまい」の視点を取り入れた本校の取り組み

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学校諸法規
・学習指導要領

保護者の願い

・進路目標の達成。
・人を思いやる心の成長。

校訓

明知　友愛　奉仕　至誠

学校の教育目標

(1) 実学を重んじ、自ら学び社会の変化に対応できる人間を育成する。
(2) 思いやりのある心をもち個性豊かで、健康でたくましく生きる人間を育成する。
(3) ビジネスの心を学び、真理を求める人間を育成する。

道徳教育重点目標

※基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心がけ、心身の調和ある生活の実現に努めさせる。
※共感する力や思いやりの心を育て、よりよい人間関係を築く。
・集団や社会の一員としての自覚を高め、責任感を育む。

各学年の重点目標

第1学年	第2学年	第3学年
1. 基本的生活習慣の確立 2. 基礎学力を育成し、進路意識を向上 3. 部活動の奨励と人権意識の高揚	1. 基礎学力の定着と専門的な知識・技能の習得を支援する。 2. 自主的で規律ある生活態度を育成する。 3. 進路目標の設定とその実現に向けた具体的な展望を持たせる。 4. 心身の健全育成と人権意識の高揚を図る。	1. 学力の充実を図り、より良い進路実現を目指す。 2. 多様な人と積極的に関わり、柔軟な思考や思いやりのある態度を育成する。 3. 出雲商業高校生として誇りを持ち、心身の健全育成と高い人権意識を持った人材を育成する。

各教科・科目

国語	国語の学習を通して理解力と表現力を育成し、互いの立場を尊重する姿勢を養う。また感性を豊かにし、言語感覚を磨くことで道徳的心情や道徳的判断力を養う。
地歴・公民	各科目の学習を通して、必要な知識と物事を多面的・多角的にとらえ考察する力、社会の一員として公正に判断する力を養う。また国際社会に主体的に生きる者としての自覚と資質を育む。
数学	事象を数学的に考察し、自分の考えを筋道立てて表現する力を高めることで、物事を公正かつ適正に判断する力を養う。
理科	科学的思考力・判断力・表現力を育成するとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。
保健体育	体育・保健の授業で、健康・安全について理解を深め、学校の諸活動、家庭生活を通じて健全な生活を営むための資質や能力を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養う。
外国語	他国の言語や文化に関する学習を通じ、自分とは異なる個性や習慣、考え方をもった人々を理解・受容する心を養う。 言語活動を通じ、社会の一員として他者と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
家庭	生活に必要な知識と技術を習得し、皆が協力してより良い社会を築いていこうとする態度を育てる。
商業	ビジネスの諸活動を主体的に学び、実践しようという態度を育てる。 合理的・論理的に社会情勢を捉え、周囲と協力しながら、経済社会の発展を目指す姿勢を育む。

※出商デパート

・「出商デパート」を道徳教育推進の柱と位置づける。
・学校行事の「出商デパート」を通して、商品の仕入れ、販売、決算までを生徒が主体となって行う。この行事をビジネス教育の一環と位置付け、その中で「生きる力」「豊かな人間性」「コミュニケーション能力」などの育成を図る。

※キャリア教育・ビジネスマナー

〇キャリア教育
・キャリア・パスポートを通して、一人一人が自分を大事にするとともに、他人も大事にし尊重する姿勢を育てる。
〇マナー・礼法指導
・毎週全校朝礼によってビジネスマナー指導を行い、集団の中での規範意識やマナーを身につける。

総合的な探究の時間（課題研究）

〇商業に関する課題を自ら設定し、その課題の解決や探究に向けて主体的・創造的・共同的に取り組む能力や態度を育てる。
〇体験的学習を通じて地域社会との結びつきを深め、地元についての正しい知識を身につける。また、郷土に対する愛着や地域社会の一員としての自覚を高める。
〇諸活動を通じて自らを高めるとともに、生徒間での相互理解を深め「思いやりの心」を育む。

特別活動

※ホームルーム活動
・諸活動の中でよりよい人間関係を築き、主体的に集団の向上に努める態度を養う。
〇生徒会活動
・生徒会執行部・各種委員会が中心となった諸活動で、自治の精神を高め、愛校心・郷土愛、自主・自律の精神を養う。
〇学校行事
・球技大会や斐桜祭、出商デパート等を通して、集団への所属意識やリーダーとしての資質を養うとともに、学校や地域を愛する心を育てる。

生徒の実態

部活動に9割の生徒が参加。学校行事にも積極的に取り組み、活気がある。遅刻者もほとんどなく、学校生活における乱れもない。しかし、人間関係をうまく構築できない生徒も一部含まれている。

地域の実態

学校行事に対して、協力的で学校への期待も大きい。特に販売実習「出商デパート」や生徒開発商品の販売には地域の方からの関心が高く、体験的活動において多くの協力を得ている。

※生徒指導

・全教職員の共通理解のもと、保護者や地域、関係諸機関と連携して、集団の中で規範意識やマナー、安全に対する意識の醸成を図る。
・毎朝昇降口において、挨拶・身だしなみの指導を行うなど、基本的な生活習慣の確立を図る。

家庭との連携

〇校内発行物
学校HP・学級通信の発行やweb連絡網での情報発信を通して校内の動きを家庭に届け、連携を図る。
〇PTA活動
PTA総会などの集まりを通じて道徳教育の目標の周知を図るとともに、家庭の協力を仰いでその達成に努める。

※地域社会との連携

〇ボランティア活動
・地域への関心を高め、郷土愛や奉仕する喜びを感じられる心を養う。
〇各種体験活動
・交通安全運動や校外体験活動を通して地域との交流・異世代との交流を深め、社会の一員としての自覚を高める。